

2015.8

平成27年度学術情報システム総合ワークショップ

# 調査計画書 (2班)

平成27年度学術情報システム総合ワークショップ2班

千葉大学附属図書館 木下 直

北海道大学附属図書館 松尾 真木子

情報・システム研究機構国立極地研究所 南山 泰之

# 調査の背景

- NACISIS-CATの課題  
理念と実態の乖離
  - 目録作成館の偏り
  - 目録対象資料の多様化



- 共同分担入力方式の見直し  
NACISIS-CAT全体の運用モデルの再考
  - 書誌作成の改善  
機能分担の検討、運用体制の再構築

# 問題意識

- これまでの提案では、NACSIS-CATの課題として、理念と実態の乖離が挙げられているが、目録対象資料や目録作成館の実態とはどのようなものか。



- 運用モデルの再考にあたり、作成書誌とその作成館についての現状把握がなされていない。

# 調査の目的

現在作成している書誌とその作成館の目録業務の実態を把握する。

- 作成している書誌とは
  - 1.外部MARCから流用して作成する書誌  
→ 1班で省力化調査
  - 2.オリジナル書誌  
外部MARCを流用せず新規で作成  
BOOKの類似書誌を流用して作成  
→ 本調査の対象書誌とする

# 調査概要

1. オリジナル書誌の実態調査
  - データを分析
  - インタビュー
2. 目録業務の実態調査
  - インタビュー
  - 2011年アンケートの実態
  - 作成時間数の調査

# 1. オリジナル書誌の実態調査 (データ分析)

## 1. 調査対象

- source = ORG
- crttdt = 20100401-20150331

## 2. 調査内容

- より詳細なデータ分析を行い、偏差を見る
  - 言語別
  - 形態別
  - 日本語の書誌

## 3. 調査期間

- 2015年8月7日～2015年8月下旬

# 1. オリジナル書誌の実態調査 (インタビュー)

## 1. 調査対象

- データ分析結果から数館を選定

## 2. 調査内容

- 言語、形態種別、年代などから収集資料の特色、タイトル、出版者などから大学の特色を分析し、インタビューを通してそれらの資料の作成スキルを調査する。

## 3. 調査期間

- 2015年9月上旬～2015年9月下旬

## 2. 目録業務の実態調査 (インタビュー)

### 1. 調査対象

- データ分析結果から数館を選定

### 2. 調査内容

- マニュアル化の状況
- 目録作成業務の状況（担当者の人数・身分等）
- 書誌調整に対する対応
- 遡及の進捗状況（残件数、コレクションの特徴等）

- 以上の項目からオリジナル書誌作成館の目録業務の実態を探る。

### 3. 調査期間

- 2015年9月上旬～2015年9月下旬



## 2. 目録業務の実態調査 (2011年アンケート調査)

### 1. 対象

- NACSIS-CAT/ILL参加館状況調査アンケート  
(2011年3月実施)結果

### 2. 調査内容

- 目録業務に関わる回答項目を整理し、業務の実態を探る。

### 3. 調査期間

- 2015年9月上旬～2015年9月下旬

## 2. 目録業務の実態調査 (作成時間数の調査)

### 1. 調査対象

- 新規作成書誌

### 2. 調査内容

- 書誌作成に要する時間を以下の点から比較する。
  - 流用・新規
  - 書誌の言語、形態 等

- 以上の項目から目録業務の実態(書誌作成にかかる労力について)を探る。

### 3. 調査期間

- 2015年9月中旬～2015年10月上旬

# 調査のまとめ

1. オリジナル書誌の実態調査
  2. 目録業務の実態調査
- を分析することで、現状を把握



- ・「理念と実態の乖離」
- ・「これからのオリジナル書誌作成と必要なスキル」  
をデータ上で明らかに



実態に即した運用モデルを検討・構築

# スケジュール（案）

調査内容	8月	9月			10月			11月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
オリジナル書誌の実態調査										
書誌作成の偏差の分析										
プレインタビュー										
本インタビュー										
インタビュー分析										
目録業務の実態調査										
2011年アンケート分析										
作成時間数調査										
プレインタビュー										
本インタビュー										
インタビュー分析										
調査まとめ										
運用体制のモデル構築										
発表準備										